

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2023年 12月8日(金)	観光文化部 文化・スポーツ 振興課	0796-21-9012 (内線 5521)	武繩真明 (文化財室長)

(件名)

史跡但馬国分寺跡 第44次調査現地説明会の開催

(内 容)

史跡但馬国分寺跡の発掘調査成果について、調査成果を公表するため下記のとおり報道関係者向けの事前の説明会、現地説明会を開催します。

記

【報道関係者向けの事前の説明会】

1 日時 12月13日(水) 午後1時30分～

2 会場 但馬国分寺跡発掘調査現場（日高町国分寺644ほか）

【現地説明会】

1 日時

12月17日(日) 午後1時30分～3時(午後1時開場)

2 会場

但馬国分寺跡発掘調査現場（日高町国分寺644ほか）

3 内容

- (1) 国史跡但馬国分寺跡の主要伽藍の一つである講堂跡の様相を明かにするために発掘調査を実施しました。その結果、講堂跡南東部の建物基礎である基壇や屋根から落ちた雨水を処理する雨落溝、柱を置く礎石の抜き取り穴などが確認されました。
- (2) 講堂跡は、昨年4月に南西側を確認しており、今回の調査で講堂跡の東西幅が約29mあることが明らかとなりました。
- (3) 講堂跡の周囲では寺院（中世国分寺）とみられる築地塀や建物跡とみられる礎石が確認されています。主要伽藍の発見以外に、古代以降の国分寺の展開を知るうえで重要な成果を得ました（詳しくは、別紙を参照してください）。

《問合せ》

観光文化部文化・スポーツ振興課

文化財室（担当：仲田）

TEL 0796-21-9012（内線 5544）





史跡但馬国分寺跡 第44次調査 現地説明会資料

令和5年12月17日 豊岡市観光文化部文化・スポーツ振興課文化財室

調査地…豊岡市日高町国分寺	調査主体…豊岡市	調査面積…221 m ²
調査期間…令和5年10月24日～令和5年12月末（予定）		
問合せ先…豊岡市観光文化部文化・スポーツ振興課文化財室 担当：仲田（Tel:0796-21-9012）		

1 はじめに

国分寺とは、奈良時代の天平13年(741)、聖武天皇が國の平和を願って諸國に建てさせた國を代表する寺院です。

但馬国分寺は、昭和48年から続けている発掘調査で、塔や金堂、中門などの中心伽藍が確認され、1辺約160mの広大な敷地を持っていたことが分かりました。また、昭和52年には全国の国分寺で初めて木簡が出土するなど、全国的な注目を集めています。平成2年には、地元の方々をはじめとした関係者のご理解のもと、但馬国分寺は国の史跡となり、現在までに寺域推定地のほぼすべてが指定されています。

豊岡市では、遺跡の保護と今後の整備活用に向けた情報を得るために発掘調査を進めております。近年では創建から約100年が経過した9世紀中頃に新たに回廊が建造されたことが判明し、寺域東側の景観が大きく変化したことが判明しました。なお、主要伽藍の一つである講堂については、昨年の調査においてその存在が明らかとなりました。しかしながら、南西部のみの確認であったため、今回は南東部の状況を明らかにするために発掘調査を実施しました。



但馬国分寺跡の位置
(S=1:50,000)



但馬国分寺跡の推定伽藍配置と
第44次調査区の位置 (S=1:2,000)

2 第44次調査で見つかった遺構

今回の調査では、主要伽藍の一つである講堂跡およびそれに重複する形で中世期の建物跡および築地塀跡が確認されました。

(1) 講堂跡

今回の調査では建物の南東部を確認しました。柱を立てる礎石は抜き取られていましたが、基壇(建物の基礎)、雨落ち溝が良好な形で残っていました。講堂の南西部を確認した昨年の調査成果を合わせると、創建期の基壇規模は東西29.1m(98尺、天平尺約29.6cm)であることが明らかとなりました。建物の規模は抜き取り穴や基壇との関係より東西23.1m(78尺、天平尺約29.6cm)が想定されます。

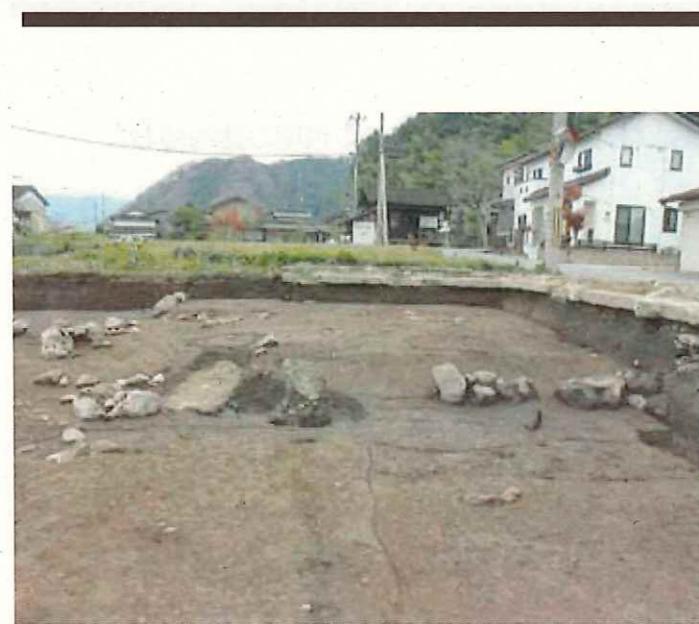
また、創建期の基壇の内側には平安期(10世紀以降)に改修したとみられる石積みの基壇がありました。このほか、建物の主軸は真北より約1.3度西に傾いており、塔や寺域を区画する築地塀と同じ方向になります。

(2) 中世建物、築地塀跡

講堂建物の周囲では東西方向に伸びる築地塀跡および建物跡とみられる礎石が確認されました。出土遺物より中世(鎌倉・室町時代)のものであり、中世寺院(中世国分寺)の存在を示す遺構となります。



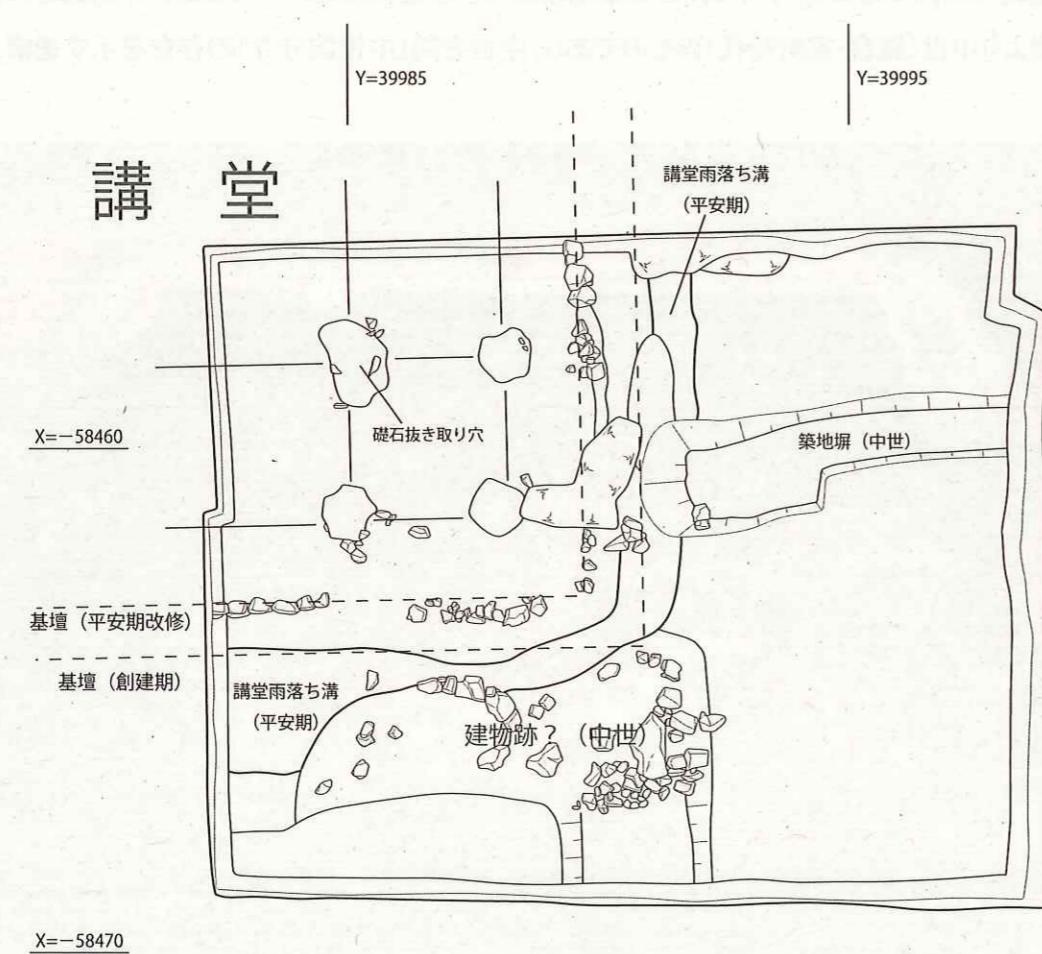
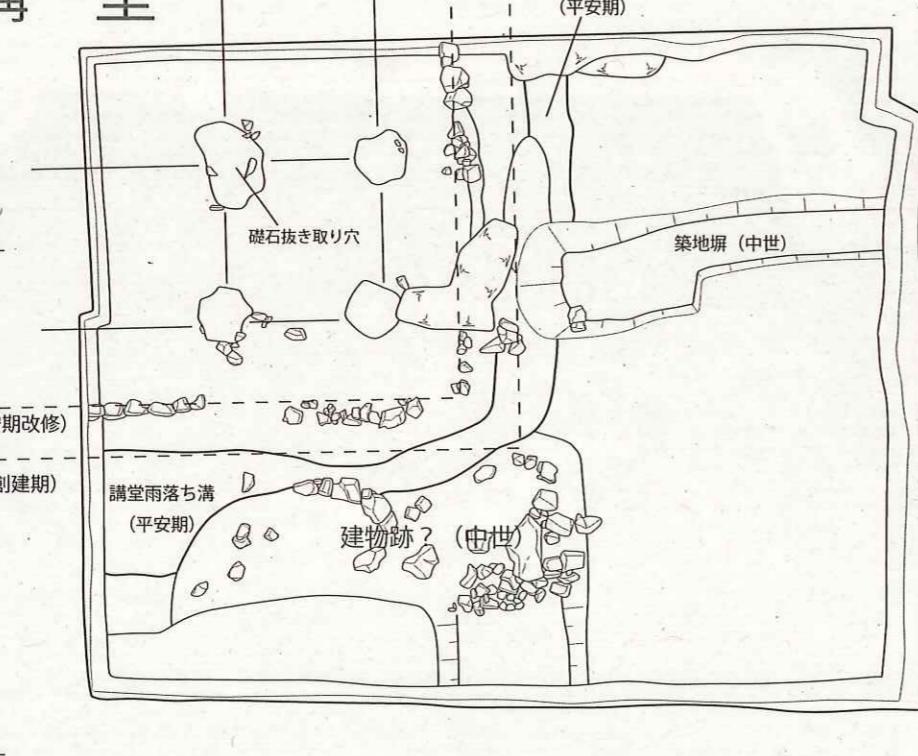
調査区全景



講堂基壇 東より



築地塀跡

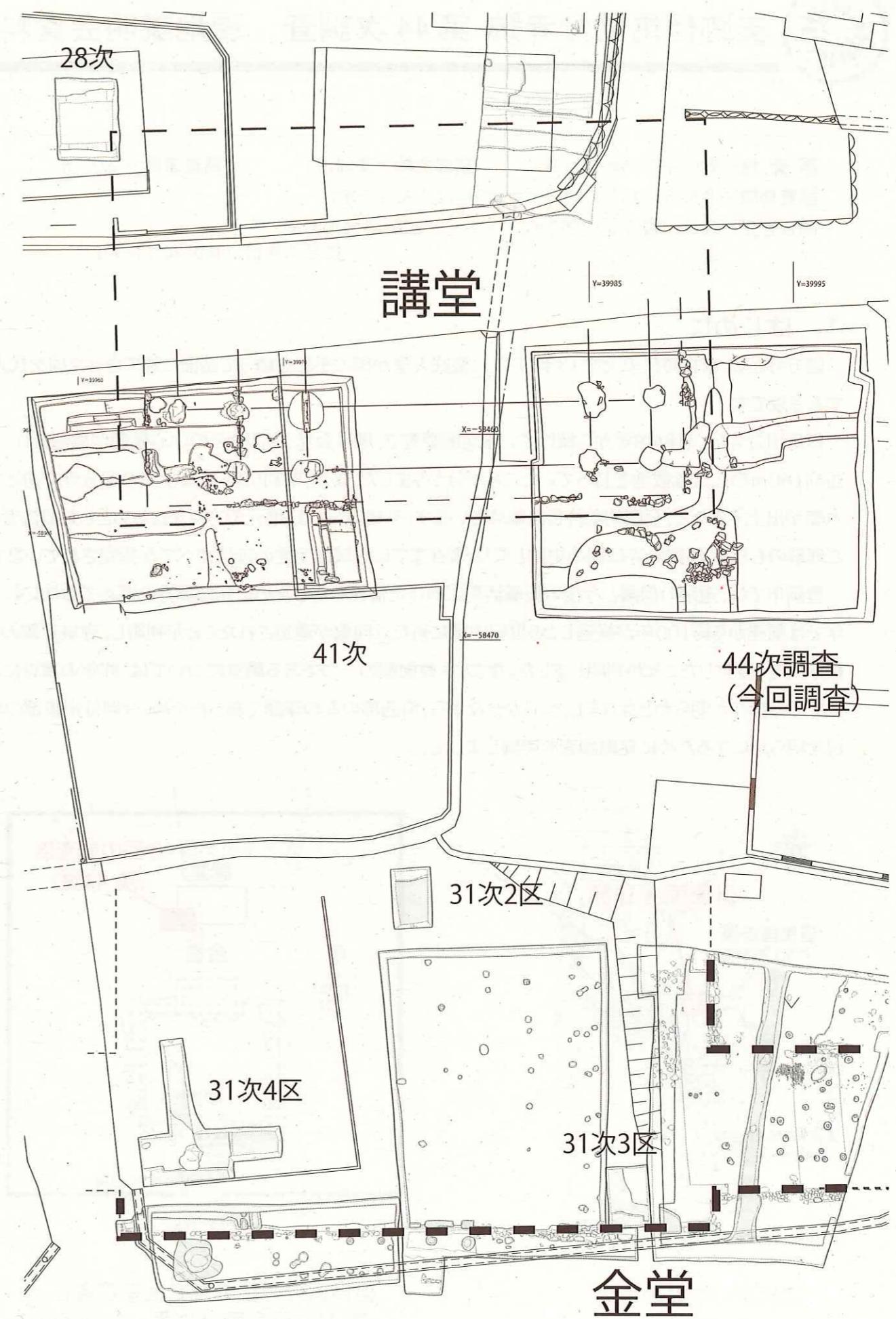
講
堂

X=-58470

Y=39985

X=-58460

Y=39995



金堂

但馬国分寺跡44次調査 講堂調査平面図 S=1/150

但馬国分寺跡、金堂・講堂調査平面図 S=1/250